

いかのおすし



いか ない(知らない人にはついて行かない)



の らない(知らない人の車に乗らない)



お おごえをだす(助けて!と大声を出す)



す ぐ逃げる(連れていかれそうになったら、すぐ逃げる)



し らせる(近くの大人に何があったか知らせる)

秋田県生活環境部 県民生活課

電話 018-860-1522 F A X 018-860-3891

E-mail kotsu@mail2.pref.akita.jp

U R L <https://www.pref.akita.lg.jp/seikatu/>

巻頭

P2 企業による子ども安全活動の紹介
(株)仙台銘板秋田営業所
日本マクドナルド(株)
県からのお知らせ
「あきた弁川柳」など

民間企業による地域安全活動広まる ～ながら見守り活動等による社会貢献～

土木工事の保安用品を扱う株式会社仙台銘板秋田営業所では、7台の営業車に「ながら見守り」のマグネットステッカーを貼って「ながら見守り」の活動をしています。令和6年4月から全国約60箇所の営業所等で始まったものです。同社の営業車は土木工事現場や建設会社などを回っていることから、市街地、山間部を問わず秋田県全域をカバーしており、通常の業務をしながら、無理のない範囲で通行経路の子どもたちの安全の見守り、不審者の警戒などに当たっています。

営業車を使う社員は30歳代から40歳代が多く、ご自分たちのお子さんが見守り対象と同世代であることもあり、当事者意識を持って取り組んでいるそうです。

将来的には営業所に子どもやお年寄りを対象とした「かけこみ寺」としての表示をすることも検討しているとのことでした。



また、日本マクドナルド株式会社では、警察などと連携して、子供が危険に遭遇した際や困ったことが起きた際などに駆け込んで助けを求めることができる「子供110番の家」の活動を全国規模で推進しており、7月3日から、秋田県の各店舗においても同活動が始まりました。

秋田県内のマクドナルド店舗において、犯罪防止を呼びかけるトレイマットを約1万5,000枚配布したほか、店頭液晶画面に「子供110番の家」の紹介を掲出しました。また、秋田仁井田店で店舗スタッフと警察官が「子供110番の家」ステッカーを貼り付けるセレモニーを実施した後、秋田市立仁井田小学校において、1、2年児童約170名を対象に、防犯・交通安全教室を開催しました。



このように、民間企業においても、営業車の機動力を活かした「ながら見守り」活動、助けを求めて駆け込める場所の設置など、地域や子どもの安全確保への取り組みが広がっています。



高齢者の交通安全『あきた弁川柳』



© 2015 秋田県んだッチ

耳慣れた秋田弁を活用して広く交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として秋田弁を使った川柳を65歳以上の皆さんから募集しました。たくさんの方々から応募いただき、次の作品の入選が決定しました。



最優秀

やじがねべ 止まれのごとで

(駄目でしょう 止まれのところで 止まらないと)

止まらねば

小坂町 木村 昭一さん



優秀

うるだぐな アクセルブレーキ まちがうど

(急いだり焦れば、アクセルとブレーキ操作を間違うよ)

大仙市 鳥羽 信一さん

佳作



**あぐどぎに スマホ見れば やざがねど
ちゃんと見れ 自転車だって 車だべ
としよりだち わらしだ見でるど 守らねば
まだ若げど 思う気持ちか 事故まねぐ
ばだめぐな 車こねても まだ赤だ**

大館市 榎木 達雄さん
上小阿仁村 高田 ヨシさん
由利本荘市 愛ちゃん
五城目町 松橋 かほるさん
能代市 桂田 恒三さん

～御応募いただいた皆様、ありがとうございました！～

犯罪被害を考える日



秋田県犯罪被害者等支援条例では、6月30日を「犯罪被害を考える日」と定めています。

今年は、6月5日に大仙市、同月11日に北秋田市、同月30日に秋田市で、

- ・ いのちのメッセージ展
- ・ 犯罪被害者のいのちのパネル展
- ・ 犯罪被害者の手記等の配布

などの啓発キャンペーンを行い、被害者を理解し寄り添うことの大切さについて呼びかけました。



令和7年度 犯罪被害者週間 「県民のつどい」を開催します

犯罪被害者等に対する県民の理解の増進、適切な配慮や支援が重要となっています。

犯罪被害者等の尊厳が守られる社会及び犯罪等の被害者も加害者も出さない安全で安心なまちづくりを推進するために「県民のつどい」を開催します。

日時 令和7年11月15日(土)
13:30～16:00

場所 あきた芸術劇場ミルハス小ホールA
内容 ・ 犯罪被害者遺族による講演
・ 「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒による手紙の朗読
・ 県警察音楽隊演奏 など

入場の事前申込みは秋田県ウェブサイトからメールで受付けています。(先着順)



<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/67645>

みんなできめよう!!

国際電話詐欺

みんなめ

+(国番号)から始まる
国際電話番号に注意!

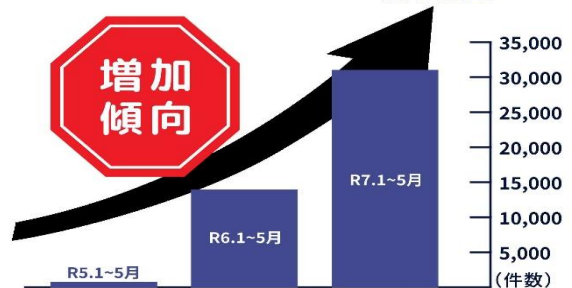
詐欺の犯人は国際電話番号を使って
詐欺の電話をかけています。



特殊詐欺の犯行に利用された
国際電話番号の件数

(未遂等含む)

(前年同期比)



 固定電話

☒ 被害の多くは**60~80歳代**

☒ 国際電話の発信・着信は**無償で休止できます!**

国際電話
不取扱受付
センター

☎0120-210-364

オペレーター案内: 平日午前9時から午後5時まで
自動音声案内: 平日、土日祝24時間

Webからの
申し込み



 スマート
フォン

☒ **20~30歳代**の被害が増加

☒ 携帯電話の発信設定を正しく行いましょう

☒ キャリアの着信拒否サービスや電話着信規制アプリのご利用
をおすすめしています



警察庁 都道府県警察



警察庁・SOS47
特殊詐欺対策特設ページ

みんなめ 🔍 で検索!

警察では、国際電話の申込み手続きを全面サポートします。最寄りの警察署に相談してください。



牛島学区安全パトロール推進協議会

牛島学区安全パトロール推進協議会は、地域住民 46 名から成る安全パトロールサポーターが、牛島小学校・城南中学校に通う児童・生徒の見守り活動をしています。

サポーターの中には、お孫さんが同校に在籍している方や、卒業生の保護者もいます。

学校がある日は、登校時間に合わせて早い方では午前 7 時頃から、また、下校時間に合わせて午後 2 時 30 分頃から午後 3 時 30 分頃まで活動している方もいます。

通学路の危険箇所や横断歩道に立って歩行を見守ったり、横断を誘導したりするほか、挨拶を元気にするよう声を掛けています。

入学当初の 1 年生には、トイレの面で対応したこともありました。

保護者の皆さんからは、「日々、子ども



たちを見守っていただけてだけでなく、物事を教えていただき感謝しています。」「学校と地域の良い関係のおかげで、子どもたちにとって良い環境で学校生活を過ごさせていただきました。」

「安全パトロールサポーターの皆さんの姿を見ると、ドライバーとして安全運転を心がけなければならないと感じました。」などの感謝の声が寄せられています。

春には、子どもたちと安全パトロールサポーターとの出会いの会、夏には危険箇所に関する警察との意見交換、冬には今年度の活動への子どもたちからの感謝のメッセージをもらうなどの行事を通じ、子どもたち、安全パトロールサポーターの皆さん、地域の皆さんが良好な関係を築いています。

会長 千田典夫



（一社）生命保険協会秋田県協会から、防犯パトロール用の帽子、ベストのセットを無償でご提供いただいていたのですが、このたび同事業を終了されるとのことで、尾崎事務局長から寄稿をいただきました。これまでの帽子、ベストの提供に感謝申し上げます。

防犯パトロール用帽子・ベスト提供終了のお知らせ

皆さまの日頃よりの防犯活動へのお取組に対し感謝申し上げます。

さて、私ども生命保険協会は、県民の防犯活動の一助として平成 21 年より、ご希望の団体に対し、標記の防犯グッズの支援を実施してきました。

今まで多くのご応募があり、帽子・ベストを約 200 団体へ提供いたしました。

県内の犯罪防止に少しはお役に立てたかと振り返っております。

今般県民のニーズや、また犯罪も多様化しており、支援の形も多様性に対応すべく見直しをすることになりました。

ついては、防犯グッズの支援を終了し、別の形での地域貢献を検討してまいります。ご応募を検討されていた方には大変ご迷惑をおかけしますが、趣旨ご理解のうえご容赦願います。

今後も、私ども生命保険協会は、引き続き形を変えて地域貢献を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

生命保険協会 秋田県協会 事務局長 尾崎好伸

<帽子とベスト>



メッシュ素材で季節を問わずに使えると、利用団体から好評でした。

ベストと帽子の提供、誠にありがとうございました。

◆ 編集後記

本号が皆様のお手元に届く頃には暑さが和らいでいることを祈りながら編集作業をしています。次回発行は今年 12 月の予定です。皆様のご協力の下、タイムリーで充実した紙面をお届けしたいと考えておりますので、「おらほの活動団体掲示板」や地域の企業による見守り活動など、皆様のまわりの防犯、見守り活動に関する情報をぜひお寄せください。



© 2015 秋田県だっちゃん